

新井中央小だより

No. 314

ホームページ <https://myoko.schoolweb.ne.jp/15020005>メールアドレス myoko.araichuou-es@edu-niigata.ed.jp

2026 (令和8) 年1月29日

教育環境を整える

3学期がスタートし、3週間が過ぎました。今学期は、この一年間の教育活動のまとめの学期であり、成長（成果）や課題を確かめ合う大切な学期です。始業式では、合い言葉「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」を具現する子どもを育てるために、「成長やがんばりを認め合うこと」と「感謝すること」に取り組む学期にしようと子どもたちに話しました。

当校のグランドデザインに掲げたように、子どもたちは全校縦割り班の「なかよし班活動」に取り組み、発見した自分や仲間のがんばりや成長、良い面を「きらり発見カード」に記しています。このカードが蓄積され、記した良さや成長、がんばりを伝え合い、自覚することが大切です。

「感謝すること」も同様です。周囲やクラスの友達、そしてリーダーとして活躍し、3月に卒業する6年生などに、「ありがとう」という言葉を伝えたいです。合い言葉「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」を感じ、自己肯定感や自己有用感をもつことにつながるはずです。

今月に入り、何回かある学年の児童から、「雨や雪の日も、明るくあいさつしてくれてありがとうございます」と感謝の言葉をもらいました。その言葉を聞いて私自身は笑顔になり、「明るく うれしく よかったね」という気持ちになりました。大人もそうですから、子どもはなおさらです。自信をもたせるためにも、自分の良さや自身の存在の価値に気付かせるためにも、「成長やがんばりを認め合うこと」と「感謝すること」が、学校の中に溢れるようにします。私たち大人も、率先して、子どもたちが元気になる魔法のような言葉をかけていきましょう。

さて、3学期になって当校の教職員に話したことがあります。それは、「教育環境を整える」ことです。教育環境は、私たちの大人の指導のあり方です。子どもたちには、感情や行動などの「セルフコントロール」が上手くできずに困っている姿も見られます。

子どもの「セルフコントロール」を高めるには、環境としての「社会コントロール」を整える必要があります。具体的には、「やらなければならないこと」と「やってはいけないこと」のルールを明確にし、大人が一貫した姿勢で指導することです。こうしたかかわりによって、子どもの「セルフコントロール」が向上するとともに、認知の歪み（考え方）の修正にもつながります。

そこで、先日の全校集会でも、子どもたちに、次のような「やらなければならないこと」と「やってはいけないこと」を話しました。保護者の皆様や地域の皆様にもご理解いただき、家庭や地域の中でも、同じように指導していただけると幸いです。

社会的コントロール

<やらなければならないこと>

学習、課題、協力、当番活動やそうじなどの仕事、他者を尊重すること

<やってはいけないこと>

暴力、暴言、物を壊すこと、いじめ、不機嫌で横暴な態度、失礼な言動

いじめのない生活や学力の向上、そして子どもたちの健やかな成長を実現するために、まず私たち大人が責任をもって子どもたちを温かく見守り、指導していきましょう。基本は、ルールを守れたら大いに褒め、守れなかったら毅然と注意すること、あるいは、個別に考え方や行動を振り返らせ、必ず正しい行動へ導くことです。こうした一貫したかかわりこそが、子どもを真に「尊重する」ことであると、私は考えます。